

保温材・防食材上からの肉厚測定 (Lyft)



Lyft装置と各種プローブ

探傷状況

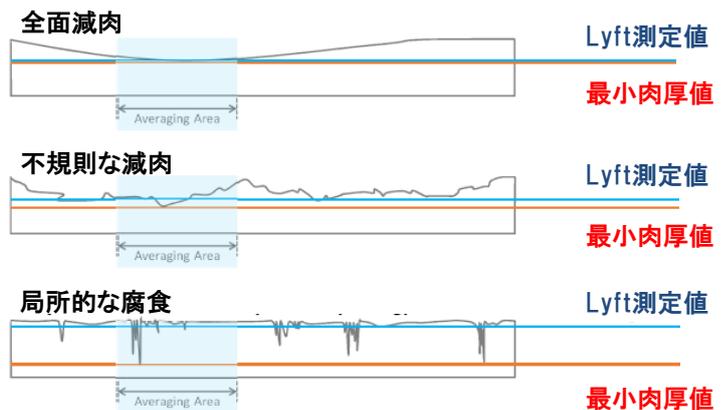
パルス渦電流法を使用することにより、保温材、防食材などを介して試験体表面に渦電流が誘起されます。その誘起された渦電流は試験体中を拡散、浸透し、試験体裏面に到達すると急激に減衰します。Lyftは、この渦電流の変化を測定することにより、試験体の肉厚を測定する装置です。また、試験体と非接触で測定可能な為、保温材や防食材を解体せず、あるいは試験体表面を前処理することなく肉厚測定可能であり、保温材下の腐食(CUI)を効率よくスクリーニングするのに最適な装置です。

特長

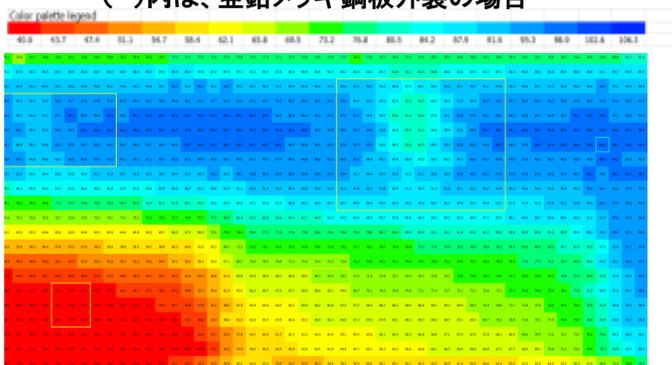
- 保温材、防食材上から測定可能
- 高温下での測定可能
- 稼働中検査が可能
- 全面減肉、エロージョンを検出
(孔食は検出不可)
- 内外面減肉を検出
(内外面の区別不可)
- 検査能率:1000点/日
(亜鉛メッキ鋼板外装で)

適用

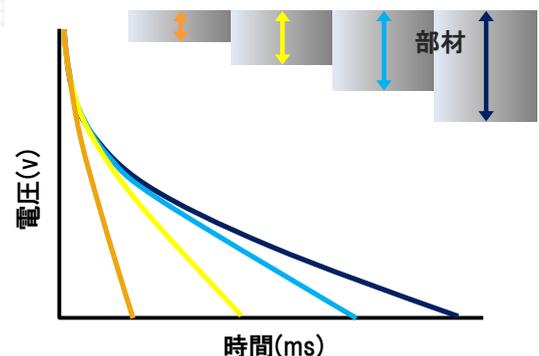
- 測定対象物:炭素鋼
- 測定肉厚:最大100 mm(20 mm)
- 保温材厚さ:最大300 mm(100 mm)
- 配管径:1B以上
- 測定対象物温度範囲:-150 °C~500 °C
()内は、亜鉛メッキ鋼板外装の場合



各種減肉形態におけるLyft測定値



測定結果出力例



各板厚における減衰率変化